

しらさぎケアホーム 地域連携推進会議 議事録

1. 日時

令和8年3月11日(水) 15時00分～17時00分

2. 場所

しらさぎ福祉園 しらさぎケアホーム

3. 出席者

- ・社会福祉法人永美福祉会 沢田理事長
- ・しらさぎケアホーム 管理者・サビ管
- ・利用者代表
- ・保護者代表
- ・津島市職員
- ・社会福祉協議会職員
- ・蛭間地区民生委員
- ・他法人グループホーム関係者
- ・地域関係者 等

4. 開会・会議の趣旨説明

管理者より開会の挨拶とともに、令和7年度よりグループホームにおいて開催が義務化された「地域連携推進会議」について説明を行った。

本会議は、利用者と地域との関係づくり、地域住民への理解促進、事業運営の透明性の確保、サービスの質の向上、利用者の権利擁護を目的として開催するものであることが説明された。また、会議終了後にはホーム内の見学を予定している旨を伝えた。

5. 理事長挨拶

社会福祉法人永美福祉会の沢田理事長より、法人設立の経緯とグループホーム事業の歩みについて説明があった。

昭和52年頃、津島・海部地域には知的障害者の入所施設がなく、地域の保護者が中心となり施設設立の必要性を感じたことが法人設立のきっかけとなった。平成元年にしらさぎ福祉園(定員30名)を開設し、その後、利用者の地域生活移行を見据えてグループホームの整備を進めてきた。

平成12年に最初のグループホームを開設し、その後おおむね4年ごとにホームを整備し、現在はしらさぎケアホームとして5ホームを運営している。

また、津島市の彩雲館ケアホームとしてグループホーム2棟の整備も行っているとの説明があった。

6. 出席者紹介

出席者より自己紹介を行った。

7. しらさぎケアホーム事業概要

管理者より、しらさぎケアホームの事業概要について説明を行った。

現在、5つのグループホームを運営しており、定員29名に対し28名が利用している。
障害支援区分は、区分6の利用者が約半数を占めており、重度の利用者が多い状況である。

年齢構成は以下の通り。

- ・30代 5名
- ・40代 9名
- ・50代 13名
- ・60代 1名

利用者の高齢化が徐々に進んでいる状況である。

各ホームの概要は以下の通り。

ホーム名	開設	定員	特徴
しらさぎホーム	平成12年	5名	最初に開設したホーム
しらさぎ第二ホーム	平成16年	6名	男女混合
しらさぎの家	平成22年	8名	重度利用者向け・バリアフリー
しらさぎハイム	改修型 平成24年	4名	女性専用
ホームV6	平成29年	6名	男性専用

8. 利用者の生活について

平日の生活の流れについて説明を行った。

- 6時頃 起床
- 7時頃 朝食
- 9時頃 日中活動事業所へ通所
- 16時頃 帰宅
- 18時頃 夕食
- 入浴・洗濯等
- 22時頃 共用部消灯

夜間は職員による巡回を行い、利用者の状況確認を実施している。

9. 支援の基本方針

しらすぎケアホームでは以下の支援を柱としている。

- ・基本生活支援
- ・社会生活支援
- ・就労活動支援
- ・保健医療支援

また、利用者の意思を尊重し、安心・安全で楽しく生活できるホームづくりを目標としている。

10. 余暇活動・地域交流

余暇活動として、以下の取り組みを行っている。

- ・地域の夏祭り参加
- ・イルミネーション見学
- ・誕生日会
- ・クリスマス会
- ・ホーム内行事

利用者の希望や体調を考慮しながら参加している。

11. 安全管理・権利擁護の取り組み

事業所内では以下の体制を整備している。

- ・虐待防止委員会
- ・身体拘束適正化委員会
- ・感染症対策委員会
- ・防災・BCP対策
- ・ハラスメント防止体制

利用者の安全確保と権利擁護に努めている。

12. 現在の課題

現在の課題として以下が挙げられた。

- ・利用者の高齢化および重度化
- ・階段利用など建物構造の課題
- ・親亡き後への対応(成年後見制度等)
- ・土日支援の人材確保
- ・建物の老朽化
- ・事業収支の課題

13. 今後の対応

今後の取り組みとして、

- ・グループホーム事業の運営体制の見直し
- ・職員配置の効率化
- ・サービス管理責任者の業務負担軽減
- ・支援体制の強化

などを検討していくことが説明された。

14. 意見交換

出席者より以下の意見が出された。

- ・地域との交流の機会について
- ・利用者の余暇活動の充実
- ・成年後見制度の利用状況
- ・防災対応、利用者避難についての課題等
- ・地域雇用や協力体制について

また、利用者代表からはホームでの生活の様子や日常の楽しみについての発言があった。

15. 閉会

以上をもって会議を終了し、その後ホーム内の見学を行った。

